Rev.1.0

若年層向けクレジット等決済サービスについて

2016年12月6日

山本国際コンサルタンツ 山本 正行 www.m-yamamoto.com

山本国際コンサルタンツ

〒1710052 東京都豊島区南長崎1-8-13 T:03-5906-4618 F:03-5906-4619 info@r

info@ms-yamamoto.com

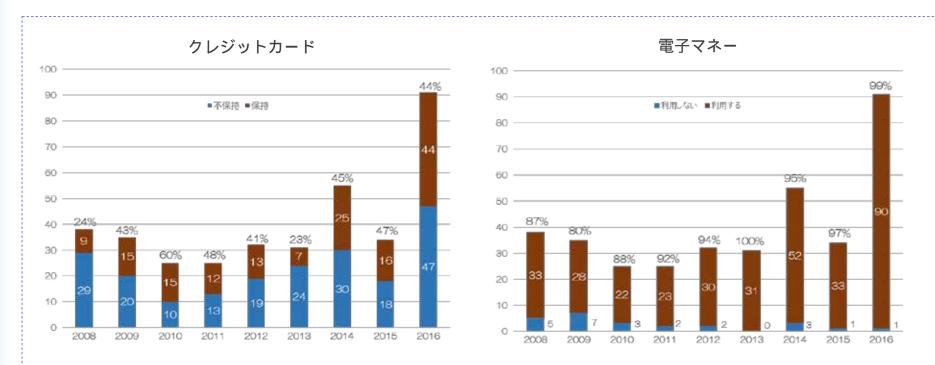
- 1. 若年層のキャッシュレス決済サービス利用傾向
- 2. 大学生のキャッシュレス決済サービスの利用(保有)傾向
- 3. スマホでの有料コンテンツ/サービス利用時の決済手段
- 4. クレジットカードの与信方法(例示)
- 5. クレジットカードの初期与信の方法例
- 6. 年齢層に応じたクレジットカードサービスの設定(例示)

属性	典型的な 年齢層	利用機会があるキャッシュレス決済サービスの種類				
		2000年頃まで	現在			
高校生	16~18	使用せず	交通系を含む電子マネー*			
大学生	18~22	• 学生向けクレジットカード	交通系を含む電子マネー*クレジットカード			
若年就労者	18~22	使用せず (一部クレジットカード)	交通系を含む電子マネー*クレジットカード			
一般就労者	22~	クレジットカード	交通系を含む電子マネー*クレジットカード			

^{*} 交通系を含む電子マネー

Suica、Pasmo、ICOCAなどの交通乗車券、nanaco、WAON、楽天EdyなどのICカード型電子マネー、iTunesギフト、Google Playギフト、ウェブマネー、ビットキャッシュなどのサーバー型電子マネー

大学生*1のクレジットカード保有率は**20~60**% 交通系を含む電子マネー*2利用者は**80~100**%



関東学院大学経済学部「e-ビジネス事情」履修生アンケート結果から (キャンパスの所在地:神奈川県横浜市 履修対象は主に経済学部に在学する2~4年生)

^{*1}本資料において大学生とは関東学院大学経済学部「e-ビジネス事情」履修生。2年~4年の主に経済学部学在生で成人も含まれる。 クラスサイズは30~100人程度。

^{*2} Suica、Pasmo、ICOCAなどの交通乗車券、nanaco、WAON、楽天EdyなどのICカード型電子マネー、iTunesギフト、Google Playギフト、ウェブマネー、ビットキャッシュなどのサーバー型電子マネーを含む

スマホで大学生が最も良く用いる決済手段はiTunesギフトとGoogle Playギフト

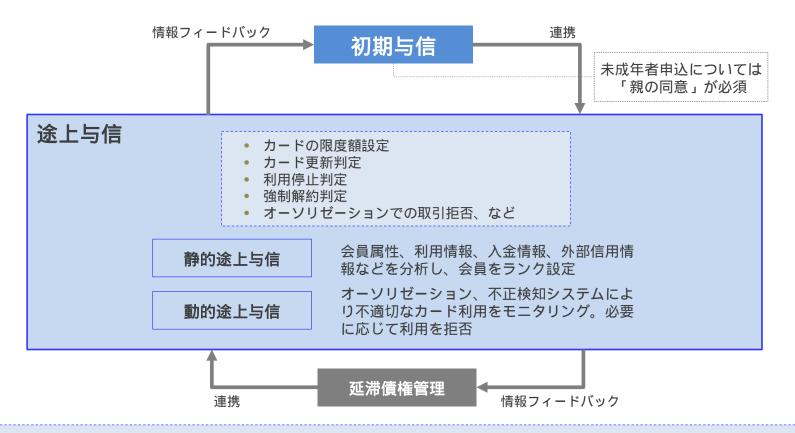
	iPhoneを使用		iPhone以外のスマホを使用				フィーチャーフォン を使用			
	スマホ保有率 = 97%									
2015 (全34人中)	23(68%)		10(29%)			1 (3%)				
	クレカ [*]	iTunes ギフト	不明	クレカ [*]	Google Play ギフト	キャリア決 済	不明			
	10	10	3	4	2	2	2			
2016 (全91人中)	スマホ保有率 = 99%									
	74(81%)		16(18%)			1 (1%)				
	クレカ [*]	iTunes ギフト	不明	クレカ [*]	Google Play ギフト	キャリア決 済	不明			
	26	<u>40</u>	8	5	<u>10</u>	1	0			

関東学院大学経済学部「e-ビジネス事情」履修生アンケート結果から(キャンパスの所在地:神奈川県横浜市 履修対象は主に経済学部に在学する2~4年生)

^{*}クレジットカードはビザ、マスターカード、JCBなどの国際ブランドによるもの。近年、国際ブランドによるプリペイド方式、デビット方式のカードも増えており、その利用もこれに含まれる

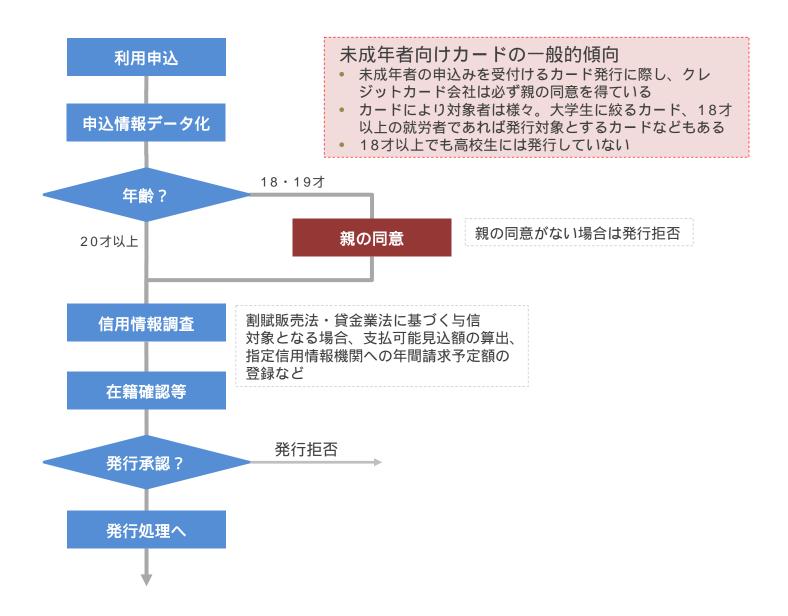
割賦販売法に基づく与信のポイント(成年・未成年共通)

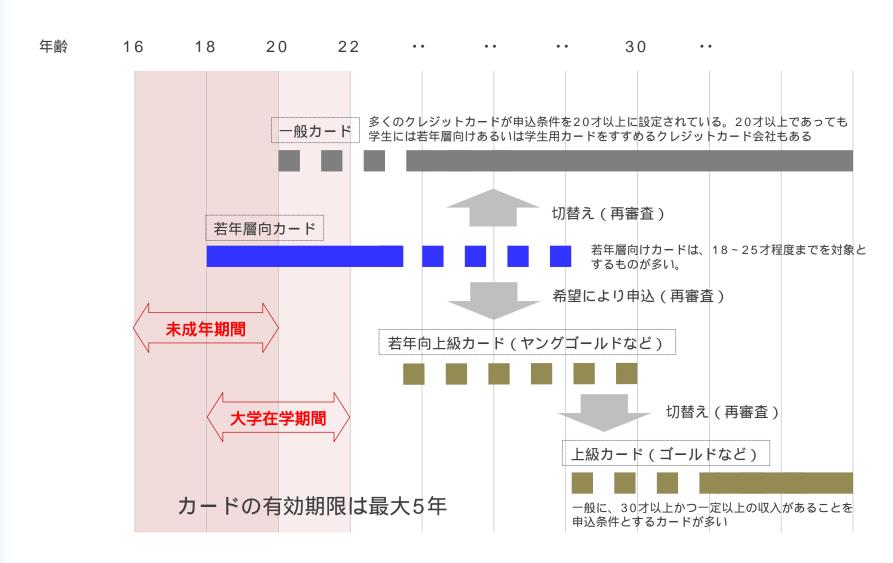
- 支払可能見込額調査義務、過剰与信防止義務
- 個人信用情報の利用、登録義務、など



未成年者(18、19才)に対する対応

- 初期与信:未成年者向けのクレジットカードは初期与信(申込)の際に「親の同意」を得る
- **途上与信**:成年・未成年共通





• クレジットカード会社による一般的なサービス区分とその対象期間(年齢)を例示的に示したもので、特定のクレジットカード会社の事例を示すものではない。

